

カンボジアは西のタイ、北のラオス、東のベトナムと3つの国と国境を接しています。経済的には一人あたりのGDPベースでタイに比べて4分の1ほど、ベトナムの半分くらいでまだまだ差があるのですが、物価を見るとほとんど変わらず、物によっては逆に高いものも多く見られます。

最低賃金ではタイに比べて7割くらい、ベトナムと比べると同等以上になってきていますが、それでも生活の苦しい人も多いようで海外への出稼ぎ、特にタイへの出稼ぎもまだまだ少なくありません。物価がもう少し安く安定してくれると良いのですが。

ローンの利用者noonさんは首都プノンペン北東部のルサイケオ地区に住んでいます。このあたりは昔からイスラム教徒が多く住む地域でもあり、またトンレサップ河とメコン河の合流地点に近いこともあり、河の恵みに依存した産業が盛んな地域でもあります。

noonさんとその親族12人で干し魚を作って卸す商売を20年くらい続けて来ていますが、ここでも最近の物価について興味深い話を聞くことができました。

河に近い立地なので以前はもっぱらそのトンレサップ河の魚を開いて干し魚にしていたのですが、2年位前からはカンボジアの魚は高くなったので8割くらいをタイ、残りをベトナムから購入しているという事です。

なぜそうなったかと聞くと、ベトナムの漁船が乱獲して天然の川魚が減っているからということですが複雑な気持ちになりますね。

小規模の商売ならカンボジア産も良いのですが、noonさんのところは毎日1トン以上をさばいているために輸送費など加味してもタイから輸入したほうが安いというのです。

そんな大量の魚をさばくのでウチのローンを利用してドラム式の鱗を削り取る機械を購入しました。効果は絶大で作業が効率良く鱗が落とせてさばく数も増やせたということです。

干し魚、カンボジア語では「トライギアッ」といって、どこの家庭にも常備されている安くて長期保存できるおかずの定番です。今後もずっと安定した供給が行われるように応援したいですね。



手際よく頭を斬り落として開いていきます



作業場の上で天日干しです



ドラムが回転して鱗を剥がしていくのは圧巻です



小学生と中学生の子どもがいるnoonさんに私の漫画もプレゼント

2022年10月23日

磯部正広